

高圧ガス施設等津波被害軽減対策事例シート

整理番号 28	実施項目 地震・津波発生時における施設点検要領の整備
-------------------	--------------------------------------

大項目 施設点検体制	細項目 施設点検基準の整備	関連事例
----------------------	-------------------------	-------------

実施対象施設 施設全般	実施費用 -	実施に要する期間 -
-----------------------	------------------	----------------------

地震・津波被害事例等
 ○東日本大震災では、一部の高圧ガス設備においても火災・爆発等が発生し、社会的に大きく取り上げられた事故が発生したほか、津波が浸水した地域においては、多くの高圧ガス設備や容器の損壊、流出等の被害が発生し、これら被害状況の把握に時間を要した事例も見受けられた。

地震・津波対策事例

地震発生時における施設点検のための要領を策定しており、その中で、施設点検の実施時期、点検項目（対象箇所、検査の視点、検査方法等）について規定している。

【施設点検要領の概要】

	点検実施時期	点検項目
第一次点検	地震発生直後 *但し、プラント内立入り禁止解除後	<対象部位> ・全般（建屋・架台・通路・静止機器・回転機・配管・その他） <検査の視点> ・倒壊・破損・漏洩・異音・その他 <検査方法> ・五感による検査、回転機オンラインモニター確認
第二次点検	地震発生後、1～2週間以内	・基礎コンクリート、基礎ボルト点検 ・耐火被覆点検 ・貯槽不等沈下測定 ・配管点検 ・内部断熱（耐火レンガ等）点検

要点

○大規模地震・津波発生時には、災害の拡大防止、二次被害の防止を図るため、設備の被害状況について早期に把握し、それらの情報に基づき速やかに適切な処置を講じる必要がある。そのため、何について、いつのタイミングで、どのように確認するのかといった整理をあらかじめしておく必要がある。